学校番号	3005

令和５年度　建築科

教科	工業	科目	建築施工	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「建築施工」（実教出版）						
副教材等	「建築実習２」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築施工とは、設計図書にもとづいて現地で工事を進め建築物をつくることをいいます。建築構造や建築計画、建築実習などでこれまでに学習した内容と関連させて理解を深めてください。
建築工事がどのような手順で計画され、進行していくかについて学習します。建設関連企業に就職する際の技術・知識であることを理解し、積極的に学習してください。

2　学習の到達目標

建築物が完成するまでの準備から終了までの工程と各工事の施工方法や機器・設備を理解する。
工事完成後の維持管理について理解し、建築業務の内容や施工管理の方法・工事にかかる積算について理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけている。	建築施工に関する基礎的な知識及び技術とともに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決をめざして自ら思考を深め、適切に判断できる。	建築工事に関する各種の工法、工事監理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割が理解できる。また、実務的な技術や技能について人に分かるように伝えることができる。	建築施工に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、創意工夫する能力を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 定期考査 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 定期考査 レポートの記述 発表・発言

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 ～ 7 月	工事の準備	・建築施工にたずさわる人々 ・建築工事の流れ ・地盤と敷地の調査・確認 ドローンによる現状調査 ・仮設工事 ・土工事及び地業工事の種類と流れ ・山留工事及び杭工事の種類と流れ	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:建築施工について関心をもっている。 b:建築施工の一連の作業を分析し、施工手順を適切に判断できている。 c:建築施工の知識を習得したうえで、その技術を活用し建築物の安全性に対して合理的に考えることができる。 d:建築施工全体に対して安全かつ経済的に施工する知識を身につけている。	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言 定期考査
8 ～ 12 月	各種構造における工事の概要	【木工事の工事】 ・基礎 ・在来工法の骨組 ・枠組工法の躯体 ・外部仕上 ・内部仕上 【鉄筋コンクリート構造の工事】 ・基礎 ・躯体 ・外部仕上 ・内部仕上 【鋼構造の工事】 ・基礎 ・骨組 ・スラブ ・耐火被覆 ・内外仕上	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:各種構造の基礎に関する基礎的な技術を習得するとともに、基礎工事の工法を観察し実際に活用・表現できる能力を身につけている。 b:各種構造の骨組工事に関する基礎的な技術を習得するとともに、基礎工事の工法を観察し実際に活用・表現できる能力を身につけている。 c:各種構造について合理的に考えることができる。 d:各種構造に対して安全かつ経済的に施工する知識を身につけている。	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言 定期考査

1・2月	建築物の保全と環境	【建築物の保全】 ・保全の分類と考え方 ・保全の方法 【解体工事と環境保全】 ・躯体工事 ・環境保全 【解体工事】 ・解体工事 ・環境保全 【建築の保全】 ・工事契約 ・現場組織の編成 ・施工計画と施工管理 【建築工事の算出（建築積算）】 ・積算の基本事項 ・工事費の構成 ・積算の方法	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:保全、解体、業務、建築積算に関心を持ち、主体的に考察しようとしている。 b:保全、解体、業務、建築積算について適切に判断できる。 c:保全、解体、業務、建築積算を理解したうえで、その知識を活用し建築物の安全性と経済性に対して合理的に考えることができる。 d:保全、解体、業務、建築積算に対して安全かつ経済的に施工する知識を身につけている。	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解